

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第 369 号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2017年10月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

東海大学適性審査による合格者34名

ダンス部 全国大会 出場

TOP*NEWS

吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト全国大会 出場決定

学園オリンピック

【スポーツ大会】卓球部・バドミントン部 団体準優勝



適性審査による特別奨励推薦候補者の皆さん



学園オリンピック夏季セミナー入賞者の皆さん



学園オリンピック【スポーツ大会】
卓球部 団体準優勝・個人3位



学園オリンピック【スポーツ大会】
バドミントン部 男子団体準優勝

希望を星につなげ!

2017年度 東海大学学園オリンピック

文化部門

7月31日(月)～8月5日(土)まで、5泊6日にわたり東海大学婦恋恋高原研修センターにおいて、学園オリンピック文化部門夏季セミナーが実施されました。本校からは、9名が参加し、以下の3名が入賞し表彰されました。おめでとうございます。

部門別 受賞者

| | | | |
|-------------|----|-------|-------|
| 国語部門 (第23回) | 佳作 | 高瀬 夏乃 | 3年10組 |
|-------------|----|-------|-------|

| | | | |
|-------------|-----|--------|-------|
| 理科部門 (第24回) | 奨励賞 | 関口 栞央 | 1年10組 |
| | 努力賞 | 石川 伸之介 | 1年10組 |

2017年度 東海大学学園オリンピック

スポーツ大会

| 種目 | 順位 | 氏名 |
|--------------|----|-----------|
| バドミントン 男子団体 | 2位 | |
| バドミントン 女子団体 | 3位 | |
| 卓球 男子団体 | 2位 | |
| 卓球 男子個人 | 3位 | 3年 飯島 信成 |
| 陸上競技 男子1500m | 3位 | 3年 寺久保 宇飛 |
| 陸上競技 男子砲丸投げ | 3位 | 3年 田代 勇太郎 |

| 種目 | 順位 | 氏名 |
|-------------------|----|----------|
| サッカー | 3位 | |
| 柔道 女子個人(48・52kg級) | 3位 | 2年 松永 夏季 |
| 柔道 女子個人(57kg級) | 3位 | 2年 森下 都雲 |
| 柔道 女子個人(70・78kg級) | 3位 | 1年 佐藤 七海 |

「リベンジ」

卓球部

3年8組 森 一貴(元副部長)

今回の学園オリンピックの結果は、決勝で菅生高校に敗れてしまい準優勝に終わった。昨年と同様に決勝で菅生高校に敗れ準優勝だった。今年こそは優勝を目標に「打倒菅生!」を掲げ、部員一丸となり頑張ってきたが、善戦はしたものの勝つことはできなかった。個人の部では昨年、ベスト4のすべてを菅生高校が独占する状況にあったが、今回は飯島がベスト4に進出し3位という結果を残すことができた。3年生は今回の学園オリンピックをもって引退するが、来年は後輩たちにこの雪辱を晴らし、団体戦、個人戦ともに優勝できるように頑張ってもらいたい。

連覇への挑戦

バドミントン部

3年6組 秋場 大輔(元部長)

昨年先輩とともに出場させていただいた学園オリンピックでは、男子団体初優勝という快挙を残すことができました。今年は自分が部長として挑む大会となり、連覇が目標でしたが、決勝で約10年優勝していた付属福岡高校に敗れ準優勝でした。連覇することができず、悔しさが残る引退となりましたが、高輪台バドミントン部は自分にとってかけがえのない大切な存在です。大切な仲間と3年間バドミントンを全うできたのは、顧問の先生方や先輩方のご指導と、支えてくれた仲間や後輩、家族があったからです。たくさんの応援をありがとうございました。

「2018年度 東海大学付属推薦入試適性審査」の結果、34名が新たに推薦候補者に決定

東海大学の付属推薦入試について、6月17日(土)に教養学部芸術学科、6月24日(土)に医学部医学科と看護系学科、さらに7月30日(日)および8月26日(土)に工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻の適性審査がそれぞれ実施され、34名の生徒が合格し、推薦候補者に決定しました。それぞれの生徒は、1、2年生のうちからしっかりと適性審査に向けて準備をして、厳しい面接試験や実技試験を突破して合格を勝ち取りました。おめでとうございます。

現在、高校1、2年生で適性審査のある学部・学科を希望する皆さんは、早期からの準備を心掛けてください。

東海大学適性審査合格者

| 進学予定先 | 学科別人数(名) |
|------------------|----------|
| 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻 | 2 |
| 医学部医学科 | 5 |
| 医学部看護学科 | 7 |

| 進学予定先 | 学科別人数(名) |
|-------------------|----------|
| 教養学部 芸術学科 音楽学課程 | 1 |
| 教養学部 芸術学科 美術学課程 | 1 |
| 教養学部 芸術学科 デザイン学課程 | 10 |
| 医療技術短期大学 看護学科 | 8 |

東海大学適性審査による合格者氏名(五十音順) *の付いた生徒は特別奨励候補者

| | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 青柳 和子* | 有賀 陽奈 | 伊藤 匠人 | 岩倉 愛* | 大里 有未 | 大澤 美紀 | 大塚 彩音* | 小川穂乃香* |
| 笠原 涼花* | 加藤 輝子 | 門脇 康平* | 金 佳菜* | 小林 蓮奈 | 近藤 舞 | 榊 麗菜 | 鈴木 舜花 |
| 高山 裕夢* | 田中 あや* | 中郡 梨子 | 鶴岡 亮久 | 泊 楓 | 富岡 勇暉 | 西川 拓輝 | 仁平高士郎* |
| 野田 翔平* | 畑中 孝介 | 濱元 海楊* | 三家本 愛里 | グレース | 宮原 真優 | 山崎 杏奈* | 山崎 更紗 |
| 山本 海斗* | 横山 龍 | 渡辺 愛海 | | | | | |

2017年度 夏休み部・同好会結果

ダンス部

全国高等学校ダンスドリル選手権大会:[HIPHOP男女混成部門Large編成] 第3位
USA School&College Competition 2017:[高校編成 HipHop部門] 第1位

ラグビー部

全国高等学校合同チームラグビー大会:島玄武が東京都選抜として出場し、優勝

ゴルフ部

関東高等学校ゴルフ選手権決勝大会(団体):入賞
関東高等学校ゴルフ選手権決勝大会(個人):藤井 98位、永田 102位

吹奏楽部

東京都高等学校吹奏楽コンクール:[A組] 金賞、都大会出場決定
:[B1組] 金賞・最優秀賞
:[C組] 金賞・最優秀賞
全日本マーチングコンテスト東京都大会:金賞、全国大会出場決定

野球部

全国高等学校野球選手権東京大会:準優勝

陸上競技部

夏季競技会:[男子1500m] 寺久保 第5位、岡 第6位
:[女子100mハードル] 木村 第8位
東京都私学大会:[男子1500m] 岡 第3位
:[男子5000m] 石田 第4位
:[男子砲丸投] 田代 第6位

男子バレーボール部

松前杯争奪バレーボール大会:[Bリーグ] 優勝

女子バレーボール部

夏季大会 都ベスト32

卓球部

地区別大会:[男子団体] 優勝
港区新人大会:[Jr男子の部] 優勝 齋藤響 第3位 槌井天翔
第2位 富岡勇輝 第3位 手崎竜希
私学大会:[男子シングルの部] ベスト16 齋藤響
:[男子学校対抗] ベスト16

バドミントン部

東京夏季高校生オープン大会:[男子1部ダブルスの部] 金子・堀内ペア 第3位
:[女子2部ダブルスの部] 遠藤・高橋ペア 第3位
:[男子1部シングルの部] 秋場大輔 準優勝
守谷公平 第3位

選手権大会:[男子ダブルス] 秋場・守谷ペア ベスト8
新人戦兼関東選抜大会都予選大会:[男子ダブルス] 堀内・清水ペア ブロックベスト4
都ベスト32

柔道部

徳原杯柔道大会:[男子団体] 第5位
:[男子個人] 柴野明紀 第3位

弓道部

東京都個人選手権大会 関東個人選手権大会東京都予選:[女子個人] 宮田美和 決勝進出

テニス部

東京都ジュニアチームチャンピオンシップ:[高校生の部] Cブロック 優勝

物理化学部

高校生バイオサミット in 鶴岡:尾上 愛 審査員特別賞

軽音楽部

東京都高等学校軽音楽コンテスト:優秀賞 VARST、カササギファンクション
入選 General Pause、獅子、MINT

吹奏楽部(中等部)

東京都中学校吹奏楽コンクール:東日本部門 金賞(3年連続金賞)

陸上競技部(中等部)

第一支部夏季競技会:[女子1500m] 天野葉月 第8位
東京都私学大会:[女子1500m] 天野葉月 第5位
:[女子800m] 天野葉月 第6位

柔道部(中等部)

東京都中学校体重量別柔道選手権大会:[男子個人] 佐久間雄大 ベスト16

「感謝」そして「初心」

野球部監督 宮嶋 孝一

このたび、第99回全国高等学校野球選手権大会東東京大会準優勝報告会という貴重な機会を設けていただき、港区役所ならびに高輪地区総合支所を訪問させていただきました。

武井雅昭港区長からは、「港区の高校として最初の甲子園出場で歴史を塗りかえてください」という激励の言葉を頂戴し、高輪支所では、白金高輪駅に掲げていただいた横断幕とともに写真撮影、職員の方々総出の拍手で迎えていただきました。

この出来事で心から感じたことは、やはり多くの方々から「愛される野球部」を目指さなくてはいけないということです。一例が駅の横断幕ですが、自分が目にする前から「駅にこんなに大きくありましたよ」とたくさんの連絡を写真付きでいただきました。反響の大きさとともに襟を正される思いをより強く感じました。一番大きな勇気と感動を与える栄冠を手にするには相応の積み重ねが不可欠です。いただいたエネルギーを最高の結果で恩返しできるよう、一層の鍛錬を続けていきたいと思っております。今夏の高輪台野球部に関わっていた全ての皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。



全国高等学校ダンスドリル選手権大会

Miss Dance Drill Team Japan Competition 2017

ダンス部



最初で最後の全員で出場できた大会

部長 3年9組 泊 楓

8月13日、私たちダンス部は東京体育館で行われた全国高等学校ダンスドリル選手権大会 Miss Dance Drill Team Japan Competition 2017に出場しました。予選を1位で通過してから、この全国大会で優勝するために普段の練習はもちろん、夏合宿でも練習メニューを自分たちで考え、チーム一丸となり、練習しました。後輩たちにもたくさんサポートしてもらい、先生やコーチ、家族や友達にもたくさん支えられ、万全の状態の本番を迎えられました。結果は3位と、目標には及びませんでしたが、3年生全員が全力を出し切り、全員で演技を心から楽しむことができたので悔いはありません。ここまで私たち26人が1つの目標に向かって頑張ってきたのは、周りのサポートがあったからです。たくさんの応援とサポートをありがとうございました。

東海カルチャーセミナー 元全日本女子バレーボール代表監督 眞鍋 政義先生

東海カルチャーセミナーに参加して 後援会学年部副部長 角本 美貴

9月2日に第12回東海カルチャーセミナーが開催され、たくさんの生徒・保護者・地域の方々にご出席いただきました。

第1部は吹奏楽部の演奏が行われ、素晴らしい演奏に会場からは「ブラボー」の声が上がりました。

第2部はエールキャラバン講演会が行われ、元全日本女子バレーボール代表監督、眞鍋政義先生に「夢は必ず叶う」というタイトルでご講演いただきました。「継続は力なり」「準備力」「執念・信念を持ち続けること」を3カ条に掲げた、ご自身の経験を交えた貴重なお話をお聞きました。ご講演の後にはバレーボール部に部活指導もしていただき、部員の皆さんはかけがえのない時間を過ごすことができました。



夢のような時間

女子バレーボール部部长 2年2組 岡田 理紗

2012年ロンドンオリンピックで全日本女子バレーボールを銅メダルに導いた、眞鍋政義監督に指導をしていただきました。実際に会って190センチもある身長と体格、そのオーラと迫力にとても感激しました。

練習では基本的なアンダーパスの構え、腕や足の使い方、オーバーパスの手の作りやボールを回転させないコツなどを細かく説明していただきました。スパイク練習では、現役の頃セッターだった眞鍋さんがトスを上げてくださり、とても光栄でうれしかったです。サーブ練習では、プレッシャーや緊張に打ち勝つ心得、練習から試合を想定して打つ大切さなどを学びました。

残り時間ギリギリまで私たちの質問に丁寧に答えてくださり、とても優しく面白い時間はあっという間でした。この貴重な経験への感謝の気持ちを忘れず、男女ともに上を目指して頑張ります。



オーバーパスの手の作りを教わりました



眞鍋監督が直接ご指導くださいました



横断幕をいただきました!

❖ アブダビ日本人学校より生徒が訪問 ❖

アラブ首長国連邦(UAE)・アブダビ日本人学校から、8月26日(土)に小学6年生が1名、8月29日(火)に中学2年生2名が本校を訪れました。小学6年生のアリー君が訪れた8月26日は、本校の第2回高校学校説明見学会にあたり、アリー君はこの説明会に参加しました。午前中はB3Fアリーナでの全体会に参加し、1,000名を超える参加者の数に驚いたようでした。午後は理科や英語の体験授業に参加しました。中学2年生のラシェッド君とアブドゥラ君は中等部の夏期講習に参加して、日本語の教材を使った日本語で行われる授業を体験しました。3人とも日本人学校で学んでいるので日本語の理解力は高く、日本語を使ってコミュニケーションをとることに慣れたものでした。彼らは、アブダビ日本人学校で中学校卒業まで学んだ後は日本の高校に進学したいと考えています。将来は母国のために役に立つ人材になりたいと語ってくれました。3人がUAEと日本の架け橋となってくれることを願っています。



2017年度学校運営方針

『飛躍』5月号で掲載した2017年度の学校運営方針の重点目標を紹介します。

2017年度の重点目標 PART.3

8 教員の授業力向上に向けて研修を活性化させる

学校全体でも教科単位でも定期的に教員研修を行っています。現状に甘んじることなく、一層質の高い研修となるよう工夫改善を行っています。教員自身が常に向上心を持ち、学び続ける人であるためにも、継続的な研修は不可欠です。昨年度から始まった首都圏の東海大学付属校による合同教科研修ですが、昨年の保健体育科に続き、今年は地歴公民科が6月19日に行いました。たくさんの付属高校の先生方が参加され、研究授業・ICT教育などについて活発な意見交換が行われました。



9 オリンピック・パラリンピック教育を推進する

近代オリンピックは単なる競技会ではなく、オリンピズムに基づく社会啓蒙活動（オリンピックムーブメント）として、人類の平和や発展を目指すものです。東海大学の創業者、松前重義はオリンピックの理念に共鳴し、自身も国際柔道連盟の会長を2期8年にわたって務め、スポーツを通じた国際理解と世界平和の推進に尽力してきました。2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるのを機に、東海大学の初等中等教育機関では、積極的にオリンピック理念を学ぶ機会を設けていきます。

10 「日本一・全国強豪部活動体験」を展開する

学園の付属校には全国レベルで活躍する部活動が数多くあります。「日本一・全国強豪部活動体験」は、一昨年から始まったもので、長期休暇等を利用して高い実績をあげている付属校の部活動に他の付属部活動生が参加する企画です。



学年だより 中 1

剛健旅行

7月18日、19日に群馬県の嬭恋村で剛健旅行が挙行されました。中学校1年生にとっては初めての剛健旅行でした。変わりやすい山の天候の中、雨にも負けず19kmの道のりを一生懸命に歩きました。

A組 安宅 風弥

剛健旅行はただひたすら歩くだけの大変な行事だと思っていました。しかし、実際に歩いてみていることに気づきました。1つ目は歩きながら友達と話したり助け合ったりすることで、仲が深まったことです。2つ目はゴールした時の達成感です。最後の方で、足が痛くなりつらかったのですが、ゴールした瞬間の達成感はものすごくありました。今回の剛健旅行で苦しくて、友達と助け合えば苦しさを乗り越えることができることを学びました。

B組 磯 重衣凛

最初は皆でゆっくり歩いて、話しながら行くつもりだったけれど、途中からA組の小泉さんと一緒に走るようになった。走っているとき、高校生の女子に「頑張れ」と言われ、元気が出た。それから頑張って1位を目指した。景色が全く見えず、道もとても狭く、たくさんの方がいた。しかし、進むにつれ道も広くなり、湖、山、空が見え、とてもきれいで感動した。結果として1年生女子の2位がとれ、よかった。

A組 岩田 果歩

山の天気はとても変わりやすく晴れたり、雨が降ったりでした。キャベツ畑が一面に広がっていて自然に囲まれている環境で友達と歩き続けました。歩くルートは坂、坂、坂。戸惑いながらも坂を上り続け、友達同士で励まし合って、最後の坂を上り終えた時の晴れ晴れとした気持ちは今でも忘れられません。そして、一歩一歩と歩き続けゴールをすることができました。ゴールした時の達成感は大きかったです。他の行事や学校では味わえない貴重な体験になったと思います。

B組 加藤 優育

1年生は初めての剛健旅行だった。私は剛健旅行が少し怖かった。友達と歩いて達成感を味わえると聞いていたが、日頃から話している人や仲の良い人たちと歩いていると話題が減り、次第に無言になるからだ。しかし、思った以上に話題があり話し足りないほどだった。そして、見えなかったゴールが見えた時はすごくすごくうれしく、仲の良い友達とここまで来られたことに言葉にならない喜びを感じた。

★皆、一生懸命歩きました★



学年だより 中2

イングリッシュサマーキャンプ

夏休み中の8月9日から8月11日まで、中等部2年生は河口湖足和田ホテルへイングリッシュサマーキャンプに行ってきました。3日間共に過ごすAC（アメリカン カウンセラー）の方々が大盛り上がりで出迎えてくださり、その様子に初めのうちは戸惑っていた生徒たちでしたが、活動が進むにつれて心を開き、積極的にコミュニケーションをとっていました。ACとの別れの際、涙する生徒も見られ、充実した2泊3日を過ごせたようです。

学べたこと

A組 金原 有亮

2泊3日のイングリッシュサマーキャンプの中で、僕は何が学べるのかわかっていませんでしたが、ACの方と一緒にゲームをしたり、たくさん話す中で3つ学んだことがありました。1つは身振りや手振りなどを大きくすることです。ACの真似をして身振り手振りを大きくすると、わからない単語や伝えにくいことが少しの言葉で伝わるようになりました。2つ目は声を大きくすることです。人に何かを伝えるときは、自信を持って大きな声で伝えれば相手はしっかり聞いてくれます。最後はしっかりとメリハリをつけるということです。普段から盛り上がりやすく声が大きくても、誰かが話すときは、黙ってしっかりと聞くことです。

僕はイングリッシュサマーキャンプを通して英語も学ぶことができましたが、人として大切なことも学べたと思います。

英語をたくさん学んだサマキャン

B組 岡野 愛美

今回のサマーキャンプで私は1～4班の代表としてMy story、班の人とCamp skitを発表しました。My storyでは全体で1位、Camp skitでは2位を取ることができました。私は人前で何かを発表したりするのは苦手で緊張しましたが、しっかりできたのでよかったです。My storyとCamp skitの内容はACの方と一緒に考え、教えてもらいながら作りました。今回のサマーキャンプでいろいろなることを学び、楽しむことができてよかったです。

イングリッシュサマーキャンプに参加して

A組 白井 萌愛花

私たちは夏休み中にイングリッシュサマーキャンプで河口湖に行きました。初めはしっかりと英語が話せるか不安でした。しかし、河口湖に到着するとハイテンションでアメリカの大学生が迎えてくれました。

3日間ACの方たちと過ごし、日本とアメリカの学校や文化の違いなどを知ることができ、また、自分から話しかけてみようという勇気が持てました。

初めは3日間も英語なんて無理だと思っていました。しかし、楽しくあつという間でした。今回学んだことをしっかりと今後に生かそうと思います。

大切さを学べたサマーキャンプ

B組 河内 諒人

今回、2泊3日のサマーキャンプに行きました。自分は英語が苦手なので、しっかりと話してコミュニケーションがとれるか不安でした。当日、バスで目的地の河口湖に行きました。僕たちを迎えるためにACの方たちは待っていてくれていました。ACの方たちは、バスから降りた僕たちにいきなりハグをしてきたりして、テンションが高いなと思いました。これなら、英語が苦手な僕でもコミュニケーションがとれるかなと感じ、積極的に活動に参加しました。そのおかげでMy story、Camp skitの2つとも決勝まで残ることができました。残念ながら、1位にはなれず悔しかったです。

このサマーキャンプでは、英語のほかにも人となつながら大切さを学びました。



英語活動



American Carnivalの様子



キャンプファイヤー



修了式

学年だより 中3

中等部の部活動を通して

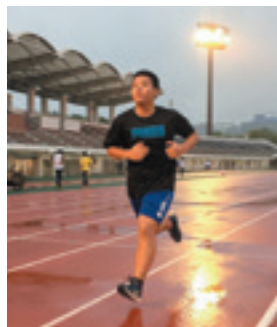
夏休みが終わり、多くの生徒たちは部活動を引退しました。現在、建学祭や引退に向けて頑張っている生徒や、引退しても後輩指導のために部活動に参加している生徒、高校の部活動に参加している生徒がいます。中等部の部活動で学んだことを書いてもらいました。

チームの団結力

【卓球部】

A組 北村 幸太

今年度の卓球部は、中3が5名で中1が3名と中2がいない状態で活動を行ってきました。この状態だからこそ、たくさんのことを学ぶことができました。中3として最後の都大会へつながる大会でのこと。僕は最後に相手の選手に逆転されてしまい、都大会まであと一歩というところで負けてしまいました。その時に声をかけてくれたのは、チームメートでした。この時に仲間のありがたさがわかりました。卓球部に団結力があるのは、人数の少ない状態で活動し、みんなで支え合ってきたからだと思います。卓球部でいろんなことを学ぶことができ、3年間とても楽しかったです。



学んだこと

【陸上競技部】

B組 安蔵 太陽

私が陸上競技部で学んだことは、良い結果を出したければ自分が持っている力を全部出すということです。個人競技なので自分で力を発揮しなければいけません。そのことがわかってから、今までいかにげんにやってきた練習も真剣に取り組めるようになりました。最も記憶に残っている大会は、引退試合でもあった私学大会です。全力を出すということを頭に浮かべ、いつも以上に気合を入れることができ、自己記録を更新できました。全力を出すためには、努力をすることが大切だということも学びました。部長になり、周りの人のことを良く見られるようになりました。部長として周りを見て指示を出し、自分が苦手だった気配りができるようになりました。私は、部活動を通して大きく成長できたと思います。

諦めないことの大切さ

【ソフトテニス部】

B組 塩見 怜奈

私はこの3年間ソフトテニス部で活動してきました。1年生の学年別大会で、初めて入賞し、勝つことの喜びを知りました。それから新人大会の個人、団体、2年学年別と続けて賞をとったものの優勝ができませんでした。絶対優勝すると決めた大会では、入賞することもできず、私のメンタルの弱さが出てしまいました。このまま負けて終わるのは絶対に嫌だったので、引退するまでに入賞することを目標に友達と一緒に頑張りました。3年生になり、顧問の先生が変わってしまい、本当につらかったです。でも、練習に前の顧問の先生が来てくださったり、部員同士で助け合ったり、たくさんの人が支えになってくれました。そして、引退試合の団体で、準優勝することができました。諦めないで最後までやり切ることの大切さを知り、一生の思い出ができました。



引退の日まで

【吹奏楽部】

A組 田口 愛梨

私が吹奏楽部に入ったきっかけは、友達に体験入部に誘われたからでした。本当は別の部活動に入ろうと思っていましたが、楽器を吹いてみたら楽しかったので入部を決めました。楽器の音はすぐに出せましたが、そこからが大変でした。楽譜が読めなかったり、音程が悪かったりしました。でも先輩たちが指導してくださったので何とか吹けるようになりました。今年度は、東京都中学校吹奏楽コンクールで、3年連続で金賞をとることができました。しかし、

あと一歩のところまで、東日本大会に出場することができませんでした。今は12月の定期演奏会に向けて準備を始めています。私たち3年生にとって、最後の定期演奏会になるので、悔いの残らないように精いっぱい頑張りたいと思います。

学年だより 高1

孀恋高原キャベツの販売をお手伝い(7月20日)

剛健旅行翌日の放課後、学年委員長・副委員長の4名が孀恋村の名産である朝採れキャベツの委託販売に協力しました。

2組 阿部 碧

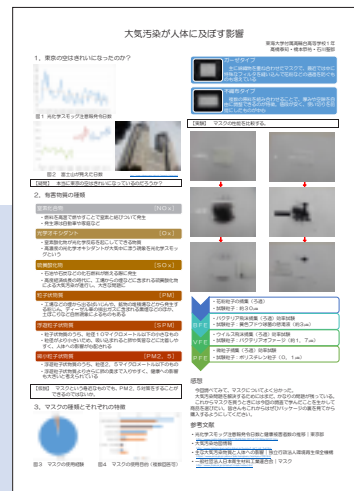
キャベツ販売の手伝いをさせてもらい、感じたことがありました。キャベツの箱は重かったし、袋詰めの際はキャベツを傷めないようにしなくてはならず、大変な部分もありましたが、4人で協力することでスムーズに作業を行うことができました。買いに来てくれた友達や先輩、先生方が「ありがとう」と言ってくれて、私はとてもうれしく、4人で販売の手伝いをすることができてよかったなと思いました。今回のこのキャベツ販売で感じた、協力することの大切さや感謝されるうれしさを忘れずに行動していきたいです。



高校生環境フォーラムに参加(7月22日)

1・3・5組の生徒3名が高校現代文明論の授業で大気汚染について調査・研究した成果をポスターにまとめ、福井県小浜市で行われた「高校生環境フォーラム」で発表しました。

当日は全国の高校生たちと環境問題の解決策について意見を交換しながら、探究活動で身に付けることのできる諸能力についても議論を重ねました。



1組 高橋 泰知



僕が今回の高校生環境フォーラムに参加して感じたことは、自分が思っていたことは間違っていたということです。その一つがガーゼ製のマスクでもウイルスを予防することができるということです。今までは見た目からして何でも通してしまいそうだなと思っていたのですが、今回マスクについて調べてみて、ガーゼマスクでもウイルスの侵入を防ぐことができることを知ったので、これからは自分の考え方にとら

われず、広い視野で物事を見られたいと思います。今回の交流会を通して、環境問題を改善するためには人の力が不可欠だということを感じました。

研修旅行事前学習

本校の「総合的な学習の時間」では研修旅行を取り扱っています。

夏期休暇中に各コースとつながりの深い書籍・映画を鑑賞することで、現地の風土や歴史、文化を学ぶことができました。

| コース | 課題作品 | 感想 |
|-----------|---------------------|--|
| カナダホームステイ | 「赤毛のアン」シリーズ | アンは「何もかもが全部すっかりわかっていたら、半分も面白くない」と言っている。確かに私たちはまだ知らないものに会った瞬間に、想像がかき立てられるものだ。私たちは宇宙についてすべてわかったわけではない分、どのように宇宙が生まれたのか考える、想像することができるのだ。(10組・萩原大我) |
| ハワイ研修 | 「トラ・トラ・トラ!」 | 日本軍が真珠湾を攻撃するシーンを見てると、何を考えていたわけでもないのですが、涙が出そうになってしまいました。きっとそれは、きっと映画で見るよりももっと残酷なことを日本はしてきたのだ、こんなことはもうしてはいけないと感じたからです。(5組・大川まりあ) |
| 北海道 | 「旭山動物園物語 ペンギンが空をとぶ」 | 私はこの作品を見て、動物園をどうにか立ち直らせようという園長の思いが伝わってきた。次々とアイデアを出してお客さんを増やし、危機になっても園長と飼育係が一致団結して市民に呼び掛ける姿がよかった。園長役の西田敏行さんの演技が優しいおじさんって感じて魅力的だった。(3組・村中涼夏) |
| 沖縄 | 「涙そうそう」 | 21歳で妹を支えるために働いて、できたお金で仕送りまでして、そんなふうにならなくても誰かのために一生懸命になれる人になりたいと思った。沖縄出身の俳優が演じているわけではないけど、沖縄の人たちの温かさをとても感じた。建物の造りはやっぱり関東とは違って古風だなと感じた。(6組・山田祐己) |

Takanawa 365days ~4組の日常~

1年4組は明るくて個性豊かな人が多いけど、スポーツ大会などでは団結して取り組めるクラスだと思います。授業ではたまに騒がしいときもありますが、基本は静かに集中して授業を受けることができていると思います。授業中に寝ている人を起こしてあげたりと、気を遣える人が多いので、建学祭にも助け合って取り組めるとと思います。特に自分たちのやる鶴アートはクラスみんなが助け合うことが必要だと思うので、クラス全員で鶴アートを完成させられるように一致団結して、建学祭を成功させることができるように取り組みたいです。(新井田幸之介)



学年だより 高2

研修旅行 ②

6月22日から5泊6日で研修旅行に出かけました。北海道、沖縄、カナダ、ハワイの4カ所に分かれ、それぞれのコースで普段の学校生活とは異なる体験や学びがありました。今回はハワイコースについてご紹介します。

ハワイホームステイコース

9組 島 優香里



今回私がホームステイコースを選択したのは、英語力を強化したいと思っているからです。私には、将来就きたい職業があり、そのためには英語を話せなければなりません。長期間の留学も考えていますが、まずはホームステイがどのようなものなのか体験してみたかったので、このコースを選択しました。たった2日間という短いホームステイではあったものの、私は進んでホストファミリーと交流することができたと思います。会話をしてわかったことは、日本語では出てくる単語が、咄嗟の英語では出てこないことや、自分が思っているように伝えることができなかつたりしたことでした。そんな時、大切だと思ったことは、相手の目をしっかりと見てコミュニケーションをとることです。そうすることで、自分の意思をより正確に相手に伝えられると感じました。自分たちから進んで関わるのができた分、成長できたという気持ちと、わずかではあるけれど、ホームステイ先のホストファミリーとの距離が縮まった気がしました。

最後に、全体を振り返ってみて、私はこのコースを選択して本当によかったと思っています。それは、ハワイの現地の人の心の温かさに触れながら英語に親しめる環境だったからです。また、ハワイの東海大学のキャンパスにて、フラやレイ作りなどのハワイの文化を体験することができたのでとても貴重な時間でした。ハワイの美しい自然や文化、人柄に触れることができ、ハワイも英語も好きになれました。とても良い思い出です。

ハワイ研修コース

2組 新井 菜恵

ハワイ研修旅行で私が印象に残った思い出は4つあります。1つ目は海でのクラス写真です。みんなで横に並んで手をつなぎ、合図で一斉に跳びました。ジャンプのタイミングが合わずにすれてしまったけれど、とても楽しい思い出になり、2組らしい写真になりました。2つ目はご飯です。ホテルのご飯やフードコートのハンバーガーはとても美味しかったのですが、それらを食べるたびに日本食が恋しくなりました。帰国して家のご飯を食べた時、改めて日本食の美味しさがわかりました。3つ目は現地の大学生との班行動です。日本語が全く伝わらなくても単語やジェスチャーでほとんど伝わるところは、やはり人間同士なんだなあと感じました。最後にパールハーバーに行った時のことです。日本の真珠湾攻撃による被害の写真や資料を見て、心が痛んだことを忘れてはいけなかったと思います。



日本とハワイでは、何ら変わりのないところもあれば、文化や習慣、価値観など違うところもたくさんありました。けれど、たとえ異なる人であっても仲良くできるし、言葉がわからなくてもジェスチャーなどを用いれば、フィーリングで伝えることを学びました。これからも外国の人と関わる機会があれば、逃げずにチャレンジしていこうと思います。

ハワイサイエンスコース

10組 平柳 蓮奈



私はハワイサイエンスコースに参加しました。クラスの大半がこのコースを選んだのも参加した理由の一つですが、普通は体験できないハワイの自然に興味があったのでこのコースを選びました。

特に印象に残っているのは、現地のスーパーと天体観測です。現地のスーパーでは、日本では見ることのできないサイズの食品や洗剤が売られていて、とても驚きました。些細なことですが、棚の高さがとても高いことなどからも、「海外」を感じることができました。また海外のお菓子と日本のお菓子は、味が全く違うのがとても新鮮でした。海外のお菓子は「人工甘味料たっぷり」みたいな味がして何とも言えない、癖になる美味しさでした。

「天体観測では、一面に満天の星空が広がっていました」と言葉で表現してみても、1/3も伝わらない、圧倒的な星の数が眼前に広がっていました。開けた場所だったので、プラネタリウムのように真横にまで星が見えてとても幻想的でした。ガイドさんの説明もわかりやすく、星座にまつわる話なども交えて説明をしてくれてとても面白かったです。さそり座や南十字星を見ることができました。また、カメラに星空を収めることができとてもうれしかったです。研修旅行でハワイ島のことがとても好きになったので、また行ってみたいです。

学年だより 高3

高校生活最後の夏、東海大学へ進学する生徒はすでに志望先を決めて過ごしました。進学先の学部・学科から入学前課題も出ており、さまざまな面で充実したひと夏を過ごしたことでしょう。そこで、今回は「私はこうして進学先を決めました」というテーマで各々の思いを書いてもらいました。

1組 江頭 野瑛 短期大学部児童教育学科進学予定

私が保育士を目指すようになったきっかけは、小・中学校での職場体験です。幼稚園の先生を体験し、とても楽しくやりがいのある仕事だと思いました。東海大学短期大学部の児童教育学科では、幼稚園教諭免許、保育士資格、小学校教諭免許を2年間で同時に取得することができます。「一人暮らしをしながら実習等の勉強に励む」大学生活は不安に思うこともあります。将来の夢の実現のために頑張ろうと思っています。

2組 坂元 俊太 法学部法律学科進学予定

中学2年生の頃、政治の教科書を見ていた時にたまたま目についたのは、憲法がズラッと載っているページでした。何とはなしに見ていたら、「法律についてもっと知りたい」という思いが湧き、それは日が経つにつれ大きくなり、現在に至ります。これが、私が法学部を選んだ理由です。将来は法律関係の仕事に就きたいと考えています。まだまだ時間がありますので、大学へ向けて日々精進していきたいと思っています。

3組 小川 希有 文化社会学部心理・社会学科進学予定

私が文化社会学部心理・社会学科を選んだ理由は、中学生の頃から人の心理に興味を持っていたからです。また教師という仕事にも興味があったので、大学で教員免許も取得したいと考えていました。

そこで、進路を考えていた際に知った心理・社会学科の内容に「ここなら自分の興味のあることが両方できる」とすぐに思いました。人の心理や社会学を学び、将来に備えたいと思います。

4組 笠原 涼花 医学部看護学科進学予定

私が看護師になりたいと思ったのは幼稚園の頃でした。当時、私には喘息があり、通院を繰り返していました。診察を受けることが怖くて泣いていた私に、笑顔で声をかけてくれて、不安を取り除いてくれたのが看護師さんでした。その時から、体だけではなく心のケアもできる看護師になりたいと思い続けてきました。看護師になりたいという思いを持ち続け、勉強と部活動ともに頑張った結果、希望の医学部看護学科へ合格することができました。

5組 岩倉 愛 医学部医学科進学予定

小学5年生の3月に東日本大震災が起きました。その数カ月後、被災した医師たちが限界状況で救命活動を行う様子を描いたドキュメンタリー番組を見て、心を打たれました。それから医療の本を読むようになり、東海大学医学部客員教授でもある作家の鎌田實先生の著書に感銘を受けました。先生の言う「心に訴える医療」ができる医師になれるよう、残り少ない高校生活でいろいろな経験を積み成長したいと思います。

6組 金子 昌彦 体育学部生涯スポーツ学科進学予定

私が希望の進路をつかむために何よりも大事にしていたことは、どんなことにも目標を持って取り組むことです。

私は部活動にも所属しているので、限られた時間の中でいかに勉強と部活動を両立させていくのが大変でした。日々の授業を大切に、基礎学力テストで結果を出すことはもちろん、普段の授業からコツコツと勉強することが、希望の進路にたどり着く一番の方法だと思います。

7組 原 敦海 文化社会学部北欧学科進学予定

私が文化社会学部北欧学科へ進路を決めた理由は、部活動でのヨーロッパ演奏旅行がきっかけです。旅行前にヨーロッパについて調べていると、北欧地域は幸福度世界一だということを知りました。もともと海外に興味があったので、どのような暮らしや文化なのかを知りたいと思い進路選択の際に、日本で唯一という東海大学の北欧学科で学びたいと決意しました。将来は海外に携わる仕事をしたいと思っています。

8組 畑中 孝介 教養学部芸術学科デザイン学課程進学予定

私は教養学部芸術学科デザイン学課程に合格するために、学力と絵の技術力の向上に努めました。学力については、中間・期末試験はもちろんのこと、基礎学力試験でも順位を一つでも上げられるように、苦手分野の克服に励みました。技術力に関しては、美術部にも兼部で参加することで絵を描く環境を確保しました。適性審査に向けて、渾身の作品を制作することはもちろん、進学後の意欲や熱意を伝えられるよう、日々さまざまな努力をしました。

9組 石川 賢斗 情報通信学部組込みソフトウェア工学科進学予定

情報通信学部組込みソフトウェア工学科に進路を決めた理由は、将来情報関係の仕事に就きたいと考えているからです。ICT(情報通信技術)の中でも、特にスマートフォンのソフト開発に興味を持っており、ますます発展していくIT社会で活躍できるよう、大学では実践的な知識と開発技術を学びたいと考えています。

10組 棚橋 郁斗 工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻進学予定

私は幼い頃に見た、ISS(国際宇宙ステーション)から撮影された写真にとっても感動しました。成長するにつれISSや人工衛星に興味を持ち、自分でも人工衛星を作りたいと考えるようになりました。大学では、関係する本を読んだり、工学部航空宇宙学科で行われているロケットや人工衛星を打ち上げるプロジェクトに参加したりしていくことで、多くの人々や研究に貢献できるようにしたいと思っています。

SSH活動報告

台湾共同研究

立命館高等学校SSH科学技術人材育成重点事業として、本校を含めたSSH8校が連携し、「台湾共同研究」が2017年3月から行われています。物理・化学・生物の各分野で台湾の高校生を交えたチームを編成し、メールやSkypeミーティングを用いて連絡をとり、共同研究を行うプログラムです。本校ではSSHクラスから2名の生徒が参加し、物理分野で「人工筋肉」の研究をしてきました。7月26日から31日には台湾にある高雄高級中学と高雄女子高級中学を実際に訪れ、台湾の生徒と直接会って議論を行い、研究の中間発表を行ってきました。また、研究の最終的な成果は、11月3日から京都で行われるJapan Super Science Fair 2017で発表されることが決まっています。

海外研修で大事なこと

3年10組 長澤 永知

今回の台湾研修で一番感じたことは「英語力の高さは外国人とコミュニケーションをとるのに、必ずしも必要ではない」ということです。もちろん英語をうまく話せる方が自分の気持ちや考えを正確に伝えることができ、内容の濃いレポートをたくさん書くことができます。しかし、今回の研修中では英語が得意ではない私でも台湾の生徒と仲良く話すことができ、また一緒に難しい内容の実験を進めることができました。文法的にも間違いが多く、単語を並べただけのような会話でしたが、緊張したままで会話を諦めてしまうのか、それともおかしな言い回しでも勇気を出して相手に伝えようとするのかの違いで、今回の研修の成果を大きく変えられたと思います。立命館大学の先生が講義で「緊張は自己中心的な感情」という話をされました。この考えはこれからの私の人生で大事になってくると思います。今回の研修での経験を今後に生かしたいと思います。



発表に向けて議論中

言語の壁

3年10組 稗田 裕樹

私は、この台湾共同研究に参加することができて非常にうれしく思います。なぜなら、高校生のうちに海外の生徒と同じ目標に向かって共同で実験するという機会は、なかなか巡り合えないと思ったからです。いくつかの障害がありましたが、なかでもコミュニケーションに関しては一番の課題でした。普段からメールなどを利用して英語で情報のやりとりをしていましたが、時間の調整がうまく合わなかったり、自分の意見を伝えたいという場面でも、うまく伝えることができなかつたりしました。しかし台湾の生徒は、私の英語を聞こうと努力してくれました。必死に伝えようとしていることをくみ取ってもらい、協力できたおかげで時間はかかってしまいましたが、無事実験を進めることができました。この共同研究では多くの困難と喜びがありました。それらをただの思い出にするのではなく、どこを改善すればより良くなるのかをしっかりと考えて、次につなげていきたいです。



淡江大学にてロボット工学を学習



研究の中間発表



高雄滞在中、お世話になったホストファミリーと

科学体験学習旅行



7月24日から2泊3日で、1年SSHクラス41名が科学体験学習旅行してきました。見学先は、愛知県の生理学・基礎生物学・分子科学研究所、岐阜県の核融合科学研究所、静岡県浜松市の浜松ホトニクス株式会社、東海大学湘南校舎、瑞浪市化石博物館、東海大学海洋科学博物館です。また、TA(ティーチング・アシスタント)として2・3年生のSSHクラスの生徒5名が参加し、1年生をサポートしました。各施設での講義、実験・実習を通して、生徒たちは普段の授業ではできない貴重な体験をすることができました。

3日間で得たもの

1年10組 山崎 秋桜

私は夏休み中に科学体験旅行に行きました。科学体験旅行の目標として、プレゼン能力の向上、知識のインプットを掲げました。

私が一番印象に残っている場所は、東海大学海洋科学博物館で見学した「夜の水族館」です。ここで私はクマノミを見学しました。クマノミは単体で泳いでいるイメージを持っていましたが、夜になると集団になって泳いでいました。水族館ではクマノミの隠れ家であるイソギンチャクと離して展示しているの、他の生物に食べられないように集団になっています。夜の水族館でしか見られないものが見られたので、すごくうれしかったです。

プレゼンの技術面もかなり上がったと思います。見学に行ったそれぞれの所について、バス内でプレゼンをしたり、夜は井上先生の授業を受けました。どうしたら時間内でより濃い内容のものを作れるのかということ、話すスピードに苦戦しました。ですが、3日間プレゼンをすることで時間の感覚や話せる量をつかめるようになりました。行く前はバス内プレゼンは嫌だなと思っていましたが、今ではやってよかったと思います。

私はこの3日間でしっかりと目標を達成し、レベルアップできました。これは先生方、先輩方のおかげだと思います。ありがとうございました。充実した3日間だったので、またこのような機会があれば参加したいです。



真空実験を体験

科学体験旅行記

1年10組 澤田 強希

私は今回の科学体験旅行を通して掲げていた「知ったことを言葉で簡潔に発表する」という目標が少し達成できたように思います。もともと興味があったことを調べるまではできたのですが、それをうまく言葉にして伝えることがこれまではできませんでした。ですが、3日目の分子科学研究所のプレゼンの時に、視覚的資料が使えず口頭だけの発表を行ったときに、我ながら最初の自己紹介の時よりうまく簡潔にまとめられたように思いました。また、TAの先輩に「前よりも上手になったと思うよ」と言われた時に、とてもうれしかったとともに自信につながりました。

さらに2泊3日の長い旅行の中で多くの企業・研究所を訪問し、自分が知らなかった技術や現象を知ることで、今までより多くの分野に興味・関心を持つことができました。これをもとにして今回学んだことの詳細を調べたりして、知識を得て、それを深められればよいと思います。



湘南キャンパスで材料について学ぶ様子

科学体験学習旅行に同行して

2年10組 高橋 凌真

今回、私はSSH1年生の科学体験学習旅行にTAとして同行してきました。

1年生の時とは違い、当日の1年生の指導やバス内プレゼンの進行など、旅行に「参加」するのではなく、旅行を「進行」する側でしたが、他のTAたちと指導や誘導を分担することにより自分に余裕ができ、全体を見通した上で次にどんな指示、誘導をすればいいかということを考えられ、うまく進行することができました。今回の旅行で1年生はプレゼン能力をはじめ知識力や精神力が格段にアップしましたが、我々TAも大勢の人たちに対しての誘導力や指導力を鍛えられ、大きく成長することができたと思います。1年生ではSSH活動に必要な不可欠なプレゼン能力をつけることや、課題研究での自分のテーマ探しができます。そして、TAとして参加した2・3年生は全体をうまく誘導したり、指導することができます。そんな人材を育成できるこのプログラムはとても有意義なものだと感じました。



井上先生によるプレゼン演習

お知らせ

後援会『けやき屋食堂・バザー』

ご来場をお待ちしております!!

後援会会長 藤方 雅志 学年部部长 牛尾 雅子

10月14日(土)、15日(日)両日に開催されます第53回建学祭において、本年も後援会として、けやき屋食堂、バザーを出演します。

場所・時間 (両日とも) ●けやき屋食堂／食堂(地下2階) 10:00～16:00
●バザー／物理実験室(地下2階) 10:00～16:00

行事予定

October 10 月

November 11 月

- 1日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会③(高校)
- 2日(月) 後期始業式 2・3時限授業(4・5・6時限カット)
- 3日(火) **スポーツ大会(高3:さいたま総合グラウンド)**
校医相談日⑥ 学校保健委員会② 安全衛生委員会②
- 4日(水) 体育移動授業開始
- 5日(木) 学年集会②(高1、中1)
- 6日(金) 高校体育祭予備日
- 7日(土) 英検②(3、4時限:中2・3)
- 9日(月) **体育の日**
- 11日(水) 建学祭開祭式(7時限)
- 12日(木)・13日(金) 建学祭準備
- 13日(金) 建学祭前日特別公演
- 14日(土)・15日(日) **第53回建学祭**
- 16日(月) 振替休日
- 17日(火) 建学祭閉祭式(1時限)
短縮4時限授業 5・6時限カット
- 18日(水) 高校体育祭予備日
- 19日(木) 学年集会②(高3、中3) 教育実習(～11月11日)
- 26日(木) 生徒会立会演説会(1時限 中等部:アリーナ 高校:放送)
- 28日(土) 特別時程 SSH成果報告会
- 29日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(中等部)

- 1日(水) **建学75周年記念日**
- 2日(木) 創立73周年記念式典 短縮授業
- 3日(金) 文化の日
- 5日(日) 受験生・保護者対象学校説明見学会④(高校)
英検②二次(中2・3)
- 6日(月) 木曜日の授業
- 7日(火) 校医相談日⑦
- 9日(木) **学園高大連携総合試験(高3)**
基礎力判定試験(高1・2)
外部実力試験(中等部)
- 14日(火) スポーツ大会(高3)予備日
- 15日(水) 専門医によるカウンセリング④
- 16日(木) 一斉公開授業②(～17日)
合唱祭(中等部)
生徒による授業評価アンケート③
- 18日(土) **水泳実習②(中等部)**
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 25日(土) 後援会委員総会③
- 28日(火) **後期中間試験(高1・2:～12月1日、中等部:～11月29日)**
卒業試験(高3:～12月1日)
- 30日(木) **AM:スポーツ大会・PM:キャリア教育(中等部)**

編集後記

北朝鮮情勢が緊迫の度合いを増している。少し前になるが、夏休みも終わろうとしていた8月29日の早朝、北朝鮮がミサイルを発射、突然番組が中断しJアラート(全国瞬時警報システム)が発令された。対象となった12道県の人々は、さぞかし不安な時間を過ごしたのではなかろうか。その後は6度目となる核実験を強行した。安倍首相は「異次元の圧力」をかけるべきと訴えたが、圧力対挑発行為、まるで北風と太陽の話のようだ。今こそ必要なのは対話による解決ではなかろうか。過去に悲惨な戦争を招いた「いつか来た道」に戻らないためにも。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>